



<報道関係者各位>

すみだ北斎美術館 企画展のご案内

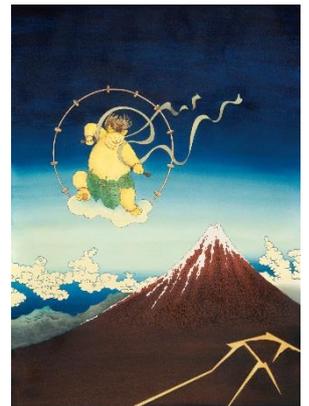
「ますむらひろしの北斎展 ATAGOAL×HOKUSAI」 2018年6月25日（月）特別内覧会のご案内

猫と人との理想郷を描いた漫画「アタゴオル」シリーズで知られる ますむらひろし。
同シリーズに登場するキャラクターが北斎の浮世絵に入り込んだ
異色の「アタゴオル×北斎」作品を展示します。

すみだ北斎美術館では、2018年6月26日（火）から8月26日（日）の期間、ますむらひろしの漫画「アタゴオル」シリーズのキャラクターと、葛飾北斎の浮世絵が合体した異色のイラスト作品を紹介する「ますむらひろしの北斎展 ATAGOAL×HOKUSAI」を開催します。

ますむらひろしは、宮沢賢治の童話作品の漫画化やアニメーション『銀河鉄道の夜』（杉井ギサブロー監督）の漫画原作者としてその名を知られていますが、漫画「アタゴオル」シリーズ^(※1)は氏が作家活動の中で最も長く付き合い培ってきた空想の世界です。この「アタゴオル」の世界と、北斎の浮世絵が合体した「アタゴオル×北斎」作品の面白さはなんと言っても、猫のヒデオシをはじめとする「アタゴオル」の住人たちが、北斎の描く日本の美しい風景に違和感なく溶け込んでいる点です。これらの作品には、氏が北斎の浮世絵を模写し、「アタゴオル」の要素を加える際の考えや姿勢、そのプロセス、そして、北斎の画業についての自身の見解等が、北斎への尊敬と畏敬の念を抱き語られており、「アタゴオル×北斎」はいわば氏の解釈による絵と文が一体となった北斎の研究作品でもあるのです。

本展の最大の見どころは「アタゴオル×北斎」と、葛飾北斎の「富嶽三十六景」シリーズをはじめとした浮世絵（オリジナルと複製版画やパネル）を比較しながら、北斎との違いや氏の解釈を体感できることです。また、当館のために描き下ろした新作「漁師図」も展示します。その他、「アタゴオル」シリーズの漫画原稿やイラスト作品など貴重な資料あわせて約140点を、前後期一部展示替えをしながら展示します。



ますむらひろし「米沢市立調練小学校創立130周年記念ポスター」
2010年発表 ©ますむらひろし（通期）

つきましては、別紙の取材申請書用紙に必要事項をご記入いただき、6月24日（日）18時までに、FAX、または hm-pr@hokusai-museum.jp へ、ご返信いただけますようお願いいたします。

<特別内覧会概要>

- 日時：2018年6月25日（月）
- 場所：すみだ北斎美術館（住所：東京都墨田区亀沢二丁目7番2号）
- 当日のスケジュール（予定）
 - 14:30 受付開始
 - 15:00 4階にて特別内覧会スタート
 - 15:15 奥田敦子（当館担当学芸員）によるギャラリートーク（※20分予定）
 - 16:00 ますむら氏 取材スタート（※媒体別に対応予定）
 - 17:00 内覧会終了

※受付は館内エントランスで開始します。

※当日は取材エリア、取材時間の調整等をお願いする可能性があります。予めご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ】：すみだ北斎美術館 広報グループ 中原・小川
TEL：03-6658-8991 Mail：hm-pr@hokusai-museum.jp



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



本展の見どころ

◆当館所蔵の北斎作品と、ますむら氏の作品を一部並列して展示を行います。

氏のイメージの源泉となった、江戸時代オリジナルの葛飾北斎のいくつかの作品と比較しながらご覧いただけます。北斎の浮世絵との違いを氏の見解と合わせて鑑賞することで、どちらも様々な角度から立体的に理解することができます。



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」(後期)



ますむらひろし「凱風快晴(富嶽三十六景)」2009年発表©ますむら・ひろし(後期)

※今回「アタゴオル×北斎」との比較展示として、当館所蔵の江戸時代の北斎の浮世絵、前後期あわせ 24 点(版画 9 点、版本 15 点)と、それ以外は、公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団にご協力いただき、アダチ版画研究所制作の複製版画を展示しています。

◆本企画展のために描き下ろしされた、ますむら氏の最新作が登場します。

待望の「アタゴオル×北斎」の新作「漁師図」を初公開します。細部までこだわり、氏ならではの視点で描かれた新たな「漁師図」の魅力をご紹介します。



葛飾北斎「漁師図」(前期)



ますむらひろし「漁師図」2018年発表©ますむら・ひろし(通期)

◆ますむら氏の貴重な資料を一部展示します。

「アタゴオル」シリーズの漫画原稿やイラスト、そのめばえとなった初期作品の貴重な資料を展示します。また筆、シャーペン、万年筆、ペン先、絵具皿など、氏の制作を支えてきた道具も鑑賞できます。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



展示構成

1章 ますむらひろしの仕事 – ATAGOALの世界

ますむらひろしがライフワークとして制作し続けた漫画「アタゴオル」の世界を紹介します。

2章 ATAGOAL×北斎-富嶽三十六景の世界

ますむらひろしの「アタゴオル」と、北斎の代表作「富嶽三十六景」がコラボレートした「アタゴオル×北斎」の世界をご覧ください。

3章 ATAGOAL×北斎-さまざまな作品

ますむらひろしの「アタゴオル」と、北斎の『富嶽百景』や『北斎漫画』、「富嶽三十六景」以外の代表的な風景版画シリーズなど、さまざまな作品とコラボレートした「アタゴオル×北斎」の世界を紹介します。

【ますむらひろしプロフィール】

1952年山形県米沢市生まれ。20歳から漫画を描きはじめ、1973年にデビュー作「霧にむせが夜」が『週刊少年ジャンプ』で第5回手塚賞準入選。同年『月刊ガロ』で「1975」が入選し、1975年には同誌で「ヨネザアド物語」を発表。1976年からは初期代表作「アタゴオル物語」を『月刊マンガ少年』に発表。同作の「アタゴオル」は宮沢賢治の心象世界「イーハトーブ」に呼応してつくられ、その世界で繰り広げられるユーモラスな猫ヒデオシと個性豊かなキャラクターの物語は人気を呼び、以後「アタゴオル」の作品は長期に渡ってシリーズ化される。キャラクターは大手メーカーのCMにもたびたび起用され、1997年には同シリーズの「アタゴオル玉手箱」で日本漫画家協会賞大賞を受賞している。また、2006年からは故郷である米沢市の「おしよしな観光大使」を務めているほか、米沢市内では「アタゴオル」のキャラクターたちが描かれた米沢市街地循環バス、愛称「ヨネザアド号」が走っている。一方で、自身に多大な影響を与えた宮沢賢治の作品も1983年から数多く漫画化。1985年には氏の漫画原作をもとにアニメーション映画『銀河鉄道の夜』がつくられ、2001年には宮沢賢治学会イーハトーブ賞を受賞している。近年の宮沢賢治作品としては『やまなし』『度十公園林』『オツベルと象』『ひかりの素足』などがある。



©ますむら・ひろし

【アタゴオル】（※1）

ますむらひろしの代表的なシリーズ作品。現在までに「アタゴオル物語」「アタゴオル玉手箱」「アタゴオル」「アタゴオルは猫の森」の4つのシリーズが発表され、主に読み切りの短編が作品の中心となっている。「アタゴオル」と呼ばれる世界を舞台に、立って歩くユーモラスな猫ヒデオシと個性豊かなその住人達を中心に物語が展開する。また、ヒデオシが起こす数々の騒動をきっかけに新しい発見が「アタゴオル」の世界にもたらされる点は本シリーズの特徴の一つとなっている。

※アタゴオルは作者（千葉県野田市在住）地元の最寄り駅東武野田線愛宕駅から名付けられた。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

**開催概要****◆展覧会名：「ますむらひろしの北斎展 ATAGOAL×HOKUSAI」****◆会期**：2018年6月26日(火)～8月26日(日)

◎前期：6月26日(火)～7月29日(日)

◎後期：7月31日(火)～8月26日(日)

※前後期で展示替えを実施

※休館日：毎週月曜日

7月16日(月・祝)は開館、7月17日(火)は休館

◆主催：墨田区・すみだ北斎美術館**◆協力**：有限会社風呂猫**◆企画協力**：株式会社アドシステム**◆お問い合わせ**：すみだ北斎美術館**◆観覧料**：AURORA(常設展示室)も観覧いただけます。

一般 1,000円<800円>、高校生・大学生 700円<560円>

中学生 300円<240円>、65歳以上 700円<560円>

障がい者 300円<240円> ※<>は団体料金

※団体は有料のお客様 20名以上。

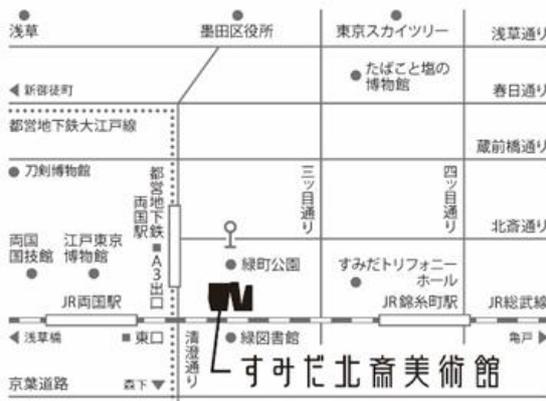
※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の1名まで障がい者料金でご覧いただけます。(入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします)

◎本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)もご覧になれます。

**【すみだ北斎美術館】****開館時間**：9:30-17:30 (入館は17:00まで)**休館日**：毎週月曜日**住所**：〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2**電話**：03-5777-8600 (ハローダイヤル)**公式サイト**：<http://hokusai-museum.jp/MASUMURA/>**公式 Twitter**：<http://twitter.com/HokusaiMuseum/>**公式 Facebook**：<http://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>**公式 Youtube**：<https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg>

都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分

JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分

JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分

**報道関係の方の
お問い合わせ先**

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

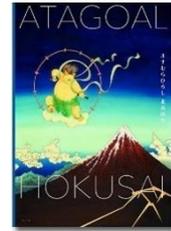
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

**ATAGOAL×HOKUSAI ますむらひろし北斎画集を販売**

本展の主要作品を掲載した画集を販売します。氏の作品と、北斎の浮世絵を対比させながら、氏による解説もじっくり堪能できます。迫力の B4 判オールカラーで販売します。新しい北斎研究作品として、お楽しみにください。



※イメージ図

**関連イベントのお知らせ****1) ますむらひろしトークイベント—アタゴール×北斎—**

出演者：ますむらひろし（漫画家）、奥田敦子（当館担当学芸員）

場所：MARUGEN100（講座室）

日程：2018年7月21日（土）

時間：14：00～15：30（開場 13：30）

定員：60名

料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です。当日 12：00 より MARUGEN100 講座室の受付で整理券を配布予定。詳細は HP をご覧ください）

2) ますむらひろしサイン会

場所：MARUGEN100（講座室）

日程：①2018年7月22日（日）②2018年8月11日（土・祝）

時間：13：30～14：30（開場 13：00）

定員：先着 100名（予定）

料金：無料（当館ミュージアムショップで、画集又は、ますむら氏の著作物をご購入いただいた方に整理券を配布予定。詳細は HP をご覧ください）

3) スライドトーク「ますむらひろしの北斎展」の見どころ

講師：奥田敦子（当館担当学芸員）

場所：MARUGEN100（講座室）

日程：①2018年7月7日（土）②2018年8月18日（土）

時間：14：00～14：30（開場 13：30）

定員：60名

料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

4) 夏休みミュージアム・シネマ

「銀河鉄道の夜」(1985年、杉井ギサブロー監督、KADOKAWA)

ますむらひろしの漫画原作を元に映画化された「銀河鉄道の夜」を美術館でデジタル上映します。

場所：MARUGEN100（講座室）

日程：2018年7月29日（日）

時間：14：00～15：40（開場 13：30、上映時間約 1 時間 40 分）

定員：70名（事前申込制）

料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）※申込の詳細は HP をご覧ください

当館の魅力は、企画展とともにバラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など「**つながる**」に根差した企画を実施していることです。詳細は、ホームページを通じてお知らせします。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

**■今後の企画展予定**

◇2018年9月11日(火)～11月4日(日)

「北斎の橋 すみだの橋」

葛飾北斎「諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし」

本展は、北斎作品だけではなく、すみだ地域にも焦点を当てた、すみだ北斎美術館ならではの地域に根差した展覧会です。北斎の代表的な風景版画に「諸国名橋奇覧」があります。全11図が確認され、「富嶽三十六景」と同じ時期に刊行されたもので、北斎が様々な橋の構造に着目して描き分けたものと考えられています。本展では、「諸国名橋奇覧」を中心に北斎が描いた橋の作品を展示します。また、北斎が橋の構造に着目して描き分けたことに注目し、墨田区内の様々な橋を取りあげます。橋の構造やデザインの特徴、歴史的変遷などを、描かれた作品や絵葉書、図面などの資料を通して、あらためて見つめ直していきます。

つながる
墨田区報道関係の方の
お問い合わせ先すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp

すみだ北斎美術館